

一

次の各問いに答えなさい。

問一

次の――線部の、漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直して書きなさい。

- ① 医療は仁術ともいわれる。
- ② 対策が奏功して混乱は収まった。
- ③ 湘南の潮風が心地よい。
- ④ 地震により尊い命が失われた。
- ⑤ 出発前に点呼をとる。
- ⑥ 映画ハイユウを目指す。
- ⑦ 皇后ヘイカにお言葉をいただく。
- ⑧ 石油がヤスネで取り引きされる。
- ⑨ ハイの手術を受ける。
- ⑩ 命令にシタガう。

問二

次の漢字について、あとの各問いに答えなさい。

雑

- ① 部首にあたる部分をぬき出して書きなさい。
- ② 総画数が同じものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 駅 イ 遠 ウ 鉄 エ 線

問三 四字熟語として正しいものを、次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

ア 悪戦苦闘 イ 意気消沈 ウ 急天直下 エ 才食兼備 オ 信賞必罰 カ 自我自賛

問四 次の熟語と組み立てが同じ熟語を、あとのア～カから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 始末 ② 朗報

ア 美談 イ 今昔 ウ 森林 エ 観劇 オ 防寒 カ 満足

問五 次の文を単語に分けた場合、いくつに分けられますか。単語の数を数字で答えなさい。

・京都は盆地であるため、夏は非常に暑くなる。

問六 次の文の——線部が修飾している文節をぬき出して書きなさい。

・いよいよ私たちが待ちに待った修学旅行の当日となった。

問七 イカ（魚介類）の数を表すときに用いられる言葉（助数詞）を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 尾 イ 杯 ウ 羽 エ 体

問八 次の文の「らしい」と同じ意味・用法で「らしい」が用いられている文を、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

・報道によると、事件の被害者は若い女性らしい。

ア はつきり意見を言うところが実に彼らしい。

イ 彼は男性らしいがっちりした体格の持ち主だ。

ウ あの山に登るのは雪のない季節でも危険らしい。

エ ウグイスだ。春はそこまで来ているらしい。

二 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。問いの中で字数に指定のあるときは、特に指示がないかぎり、句読点や符号もその字数に含めます。

なぜ最近になって景観がとりあげられるようになったのか。現代において景観はどのような意味をもつのだろうか。美しい景観は、誰にとつて意味のあるもののだろうか。

景観は自然を加工し、人工物を加えた総合的な姿として示される。自然は初めから与えられたものだが、それを加工し変造してきたのは、すべて大勢の人間の営みによる。その結果を総合的に目に見える形で表しているのが景観だ。ルイス・マンフォードは「人間は自分で斑点を変え、術を知った豹である」という警句を述べた。「人間は自然の改造者だ」という意味だ。都市景観は、多くの人間の営みにより築きあげられて来たもので、もともとあつた自然は、表面的には見えにくくなっている。①現在の景観に責任を持つのは人間自身である。【ア】

景観をつくるには、実にさまざまな人々がかかわってきた。現在の人々はもちろん、歴史や過去の人々も含めた力が加わっている。有名建築家は、設計した建築を自分の作品というが、それは大きな都市景観の一要素に過ぎない。都市は長い時間の中に多数の人々により積み上げられてゆくもので、大権力者や大建築家であっても、個人はその中の一部を担うだけだ。

都市景観全体もひとつの作品として考えるならば、過去の人々を含め、②実に多数の多様な市民が参画する協働作品だと見てよいだろう。作品には、作ろうという意思やテーマが要る。欧米の都市ではそれを感じるのだが、現在の日本では、ほとんどの人に「まち」への意識がない。それぞれが自分の都合で活動していった結果として都市が形成されているだけで、協働作品にはならない。

現代の都市は市民が主体だと言われながら、各自にとつてその実感は薄い。まだ民主主義社会が未熟なことによるのだろう。市民は、わずかに選挙のときに意思表示できるのだが、投票率の低下に見られるように、関心が低い。その不備を補い、常時、市民が都市に関心をもつように、市民参加や直接民主主義が叫ばれるようになってきた。【イ】

それもいいのだが、もつと日常的にはつきりした市民参加の場がある。それは、日常生活の中で行われる美しい都市景観づくりに貢献すること、A 景観という協働作品づくりに参加することだろう。自分の家を建てるのはもちろん、家の周りの垣根を整え、美しい花を飾ることも、市民が都市景観をつくっている行為になる。初めてヨーロッパの街を訪れたとき、窓辺に美しい花を飾っ

ている都市の姿をみて感動した。それは、自分のためよりも「まち」全体のためだった。都市景観は市民がつくる作品になっていた。

ごみを一つ拾うのも景観に貢献しているし、逆にごみやタバコの吸殻を道に散らかせば、景観を傷つけるマイナスになる。気にも留めないでいる人の行為でも、景観にプラスあるいはマイナスに働き、その行為の累積が現在の景観になっている。【ウ】

よりよい都市景観にするために、市民がバラバラではなくお互いに共通する目的に向かう意思が働けば、市民の協働作品になってゆく。一人一人は巨大な作品のパートを分担しているわけだ。④抽象的・観念的な「市民参加論」ではなく、誰でも参加できる日常的な実践の場としてあるのが都市の景観づくりだ。

全国の各地で、お年寄りや地域の人々が、沿道に花を植えることが行われるようになった。これも立派な協働作品への参加である。戦後間もない頃、人々の気持ちが荒れていたときに、山口県の工業都市・宇部の市民運動で空き地に花が植えられた。それが、「まち」を美しくするばかりでなく、人々の心にも優しい気持ちを取り戻し、すさんだ心を和らげた。さらに緑や彫刻を設置する運動に展開していく。

景観を協働作品として認識すると、自分の一つ一つの行動が、他の市民とともに働いていることが確認できる。「内は自分のもの。外はみんなのもの」という小布施の合言葉の意味だ。⑤それは、孤立した住民が、地域に責任をもつ市民に成長していく契機になるだろう。

美しい都市は、かつては権力者の誇りだったが、現在では都市の主人公である⑥の誇りになる。ドイツ人はよく自分の出身の町を⑦美しい町だと自慢する。B 小さな町でも、町に誇りをもっている。日本の場合には、小さな町の出身者は恥ずかしながら、なかなか自分の町の名を言わない。その代わりに近くの少し大きな町や有名な温泉地などの名を挙げる。よくよく聞いてみると、それからずっと奥に入った無名の町である。【エ】

人口の多いことは、別に誇りにはならないし、少ないからと言って卑下する必要は全くない。合併すればいくらでも人口は大きくなる。大きな町に合併すれば、南アルプスの一部さえ静岡市に入る。人口と美しい個性的な「まち」であることは関係ない。

C、大きな都市に属してしまうと、その辺境部分は、忘れ去られてしまうことになりかねない。

大分県の湯布院町(二〇〇五年一〇月、合併により、由布市になった)は小さな町だが、今や大分県で最も有名だ。九州で一番有名な温泉地だろう。商品の名称としても、県庁所在都市の大分や、昔からの有名な温泉地の別府よりも、湯布院のほうが全国的に

通りがいい。北海道の美瑛町^{びえいちょう}は、何と言うことのない町だが、写真家・前田真三^{しんざ}に紹介されて、田園風景が評価された。前田真三の写真の記念館も、小さいが人を呼んでいる。瀬戸内海^{せとないかい}に面する愛媛県^{えひめけん}の双海町^{ふたみちよう}（現伊予市）は瀬戸内海のほかに何もない町だが、美しい夕日に着目して「夕日の町」として有名になった。人口は少なくても、美しい個性的な町はたくさんある。

美しい町は、市民にとっての誇りだ。誇りをもつことによって、「まち」はますます美しくなる。美しい町が市民の誇りを呼び覚ます。誇りとは外に向けられるだけでない。自分の心の中に町への愛着を感じない者はいないだろう。美しい「まち」は、個性と文化をもった「まち」である。そういう自覚をもてば、住む人々の顔まで生き生きしてくる。しかもその美しさは市民の手によって築かれるものである。誇りと愛着が、ますます美しい協働作品としての「まち」を育てていくだろう。

（田村明^{たむらあきら}『まちづくりと景観』による。問題作成にあたり、一部を改変しました。）

*ルイス・マンフォード^{マンフォード}はアメリカの文明批評家。

*警句^{きんご}は短く巧みな表現で、真理を鋭くついた言葉。

*小布施の合言葉^{あひことば}は小布施は長野県にある町。小布施町はこの言葉をまちづくりの基本理念にしている。

問一 A C にあてはまる言葉として適切なものを、次のア～カから一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア それどころか イ それはさておき ウ つまり エ あるいは オ たとえ カ だから

問二 次の一文は本文中のどの位置に入りますか。本文中の【ア】～【エ】から選び、記号で答えなさい。

日常的に都市景観づくりに参加していることに気がつけば、都市は市民に身近に感じられるものになるだろう。

問三 この文章に見出しをつける場合、どのようなものがよいですか。適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 美しい景観をつくるのは何か イ 市民の協働作品としての景観
ウ 日本の景観づくりにおける問題点 エ 景観をつくる主体としての市民
オ 景観の歴史と「まちづくり」の実践

問四 この文章を大きく二つに分けると、第二の部分はどこから始まりますか。その部分の初めの五字をぬき出して書きなさい。

問五 線部①「現在の景観に責任を持つのは人間自身である」のは、なぜですか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問六 線部②「実に多数の多様な市民」と対照的な意味で使われている言葉を、本文中から二字でぬき出して書きなさい。

問七 線部③「『まち』への意識」にあてはまらないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 各自にとって快適な「まち」のあり方を考えるということ。
イ 自分が住む「まち」の主体としての自覚を持つということ。
ウ 自分の行動が「まち」の景観を作るという認識を持つということ。
エ 「まち」全体を考えて他の人々と目的や意思を共有すること。

問八 線部④「抽象」と反対の意味を持つ言葉を漢字二字で書きなさい。

問九 線部⑤「それ」は、どのようなことを指しますか。本文中の言葉を用いて二十字以内で答えなさい。

問十 ⑥ にあてはまる言葉を、本文中から漢字二字でぬき出して書きなさい。

問十一 — 線部⑦「美しい町」とありますが、筆者の考えでは、何を持っている町が美しいのですか。本文中から二つぬき出して書きなさい。

問十二 本文の内容と合っているものを、次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

ア 都市の景観を作り上げるのは大権力者や有名建築家ではなく、現在そこに住む市民である。現在の市民は、一人一人が都市景観に対する責任を持っている。

イ 景観は、さまざまな人々の力がかかわることで形作られるものである。景観づくりの場においては、市民一人一人が担っているのは一部に過ぎないと言える。

ウ 人間はこれまで自然を改造することで都市を築いてきた。今後は、双海町の「美しい夕日」のように自然を見直すことで「美しい町」を築くことも大切である。

エ 現代の日本の都市には、孤立した住民が多い。そのような住民は、他の市民との協働によって生活が成り立っていることを確認することで、市民として成長する。

オ 日本の民主主義社会は欧米と比べて発達していない。その中にあっても、美しい都市景観づくりを日常的に心がけることで人々は市民参加を実践することができる。

三 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。問いの中で字数に指定のあるときは、特に指示がないかぎり、句読点や符号もその字数に含めます。

瀬戸内海の島に住む中学三年生の千波と恵は、仲良しだったが、ある事件をきっかけに気まずい思いをしていた。しかし、恵の誘いで千波の弟大地を連れて海水浴に出かけることになった。

運のいいことに、バスはすぐにやってきた。^{＊さんはんきかん}二半規管の弱い千波は乗り物に酔う。いそいで海側の窓際の席を確保した。隣に恵がすわり、大地は運転席の真うしろにひとりで陣取った。^{①じんと}

窓のそこには造船所の高い塀がしばらくつづき、みじかいトンネルをぬけたとたん、一気に視界が広がって光の量が増えた。海だ。海が真夏の日を受けて光っていた。まぶしい。千波は深々と息をすいこんだ。[＊]造船所のクレーンが空に突きささっている。ドックには堂々とした^②大型貨物船が鎮座していた。あれがきつと進水式が近いと作治のいつていた船だろう。船首にはアラビア文字で船名が書かれていた。

「きれいじゃねえ」

恵がからだ半分、千波のひざに乗りあげるようにして、窓辺に寄ってきた。ひさしぶりに間近で見る恵の瞳は、やっぱり黒と白の^③コントラストがはつきりしてきれいだ。目じりだけほのかに赤らんで涙の名残をとどめている。

「外国みたいじゃねえ」

ほんとうにそうだ。バスではんの数分岬をまわりこんだだけで、景色は一変する。いつも千波たちが見ているのは、むかしの山が間近にせまって川のようにせまい海だけど、ここまできると海は一気に広がりを見せる。ああ、この海は世界の海とつながっているんだ。そう実感させてくれる。

海を見ていると、はるかな気分になれるから好きだ。千波はときどきなんの予告もなく、^④このはるかな気分におそわれる。「ぼんやりしてる」とひとからはいわれるけれど、千波にとっては魂を解き放つ、とても心地よい時間なのだ。

「おりるよ」

あつというまに折古の浜に着いていた。神社脇の松林をとりぬけるうちに、ビーサンの下の土が砂に変わった。

「わーい」

まぶしく白い砂浜にむかって大地が駆けだした。「ラーメン」「かき氷」と、のぼりの立っている海の家スピーカーから、大音量の演歌が流れてくる。

「ボルノかけろっちゅうの」

「海まできて、演歌はなからう」

ふたりして文句をいいながらも浮き立っていた。

「大地いー、着がえてくるけえ、場所取りしとき」

海の家そばに、板敷きで屋根によしずを乗せただけの簡素なつくりの無料休憩所がある。そこを一区画ゲットしておくと、荷物を置いておいたり、海からあがって休むときに便利なのだ。

「がつてんしょうちのすけ」

背中に浮き輪をかついだカメのような格好で、大地は駆けていった。

千波と恵は大いそぎで、おそろいのスクール水着に着がえて海にむかった。海にくると、なぜか気があせる。海はどこにも逃げやしないのに。

ザザー、ザザー

⑤ そんな千波たちを笑うように、波はゆつたりとしたリズムで浜に白いレースもようを描いていた。

ミヤー、ミヤー

カモメの鳴き声が波の音にまざる。空にはむつくりと元気な入道雲。空と海とのあいだには、まつすぐな水平線。夏だー、海だー。足の裏の熱い砂の感触を楽しみながら、千波は⑥。ここしばらくあった恵とのあいだの緊張関係も、泡のように波のあいだにとけていくようだった。

「でかした、大地」

ゲットした休憩所の一角で、大地が浮き輪をふくらませるのに手間取っていた。

「貸してみ」

空気がれを取り上げ、恵は器用に浮き輪をふくらませた。そしてそのまま、

「返して、返して」

と追いつがる大地をふりきって、海まで駆けだした。

「千波、はよう」

ボートごとザッブーンーと海に飛びこんだ。すぐに千波もつづく。思ったより水は冷たかった。

「ひょー」

からだ中の細胞が一気に目をさました。眠っていた細胞のひとつひとつが、A音立てて活性化するようだ。

ゴボツ

いきなり足を引っぱられ、頭まで水の中にしずめられた。お、おぼれる。必死に砂をけてようやく水面に顔をだした。恵が笑っていた。

「こんのおー」

両腕をめちゃくちゃにふりまわして、頭から水をかけてやった。半分本気で怒っていた。大地も加勢して、ふたりで恵を総攻撃した。

「ギブ、ギブ」

髪の毛がはりついた頭を犬のようにふると、恵はBと沖にむかって泳ぎだした。きれいなフォームの平泳ぎだった。どうやら沖の飛びこみ台までいくつもりらしい。取り残された大地と千波は、しかたなく浅瀬で浮き輪のボートで遊んだ。

大地をボートに乗つけて引っぱっていると、飛びこみ台まで泳ぎ着いた恵が、はしごをのぼっていく姿が見えた。引き潮なので飛びこみ台は水面から二メートル以上突きだしている。大人でもない子どもでもない若鮎のようにしなやかな恵のからだの水をはじいて光る。きれいだ。思わず見とれた。そうか、うちらってこんなにきれいなんだ。Cとわきあがるプライドに胸がふくらんだ。とたん、飛びこみ台をけつて、恵が海に飛びこんだ。

べちゃっ！

見事な腹打ち。

「あっちゃー」

大地と千波の声がかさなった。

「いてえ、いてえ」

と腹をさすりながら、それでも洗われたようにさっぱりした表情で、恵はもどってきた。

水にはいると腹がすく。早めの昼食にすることにした。両手で持たないと落っこしそうな巨大おにぎりが、あつというまに胃袋におさまった。大地も「うまい！」を連発しながらぺろりと平らげた。

「あー、食った、食った」

板敷きの床にごろんと横になった。食べてすぐ横になると牛になるよ。^{*}のぶ子のしかる声が聞こえた気がしたが、けだるさに負け、裸の背中にちくちく砂がささる。真上にある太陽の光がよしずをとおしてでさえ、まぶしい。目をあけてられない。とたんに波の音が耳の中で大きくなった。

ザザー、ザザー

波のリズムに身をまかせていると、ふっと浮きあがる感覚にとらわれた。波間にただよう松ぼつくりの気分。

ゆらゆらー、ゆらゆらー

あー、気持ちいい。潮風がそっとほてった肌をなでてとおった。すーっと意識が遠のいた。

「千波、うち、湊高にいくことにしたけえね」

恵の言葉を理解するまで時間がかかった。え、なんて？

⑦「海に飛びこんだら、ふっきたわ。家の経済考えたらそれしかないし。じゃけど理学療法士になる夢は、うちはゼツタイあきらめんけえね」

⑧「ううやくばつちりと目がひらいた。」

「恵、湊高にいくん？」

湊高というのは島の高校の名前だ。⑨寝ぼけた言い方になった。

「ゆうたじゃろうー」

腰にバスタオルを巻きつけ、あぐらをかいた恵が、ぶつまねをした。

「……そっかあ」

D「と起きあがった。大地は？ と見まわすと、海水浴場のはずれの潮だまりで夢中になってなにかをさがしていた。

「千波は？」

きた。

「うん。一応望が丘受けようと思ってる」

「望が丘ー すごいがー」

「すごいことないよ。受かってからゆうて」

「いける。あんたならいける」

興奮した恵が組んだ足をばたばたさせるので、バスタオルが風を起こした。

「……そうかなあ」

千波の自信なげな様子に、恵は、

「この恵さまが、いけるゆうたら、いけるのー」

どんと胸をたたいた。その力のいれようが、おかしかった。だけど、根拠のない信頼がうれしかった。

「……そっかあ、望が丘かあ」

ふたりならんで両手をうしろについて空を見あげた。恵の言葉に⑩一抹のさびしさが宿る。大きな瞳には真っ白な入道雲がうつりこんでいた。ごめん。口にはださず、千波は⑪大きなからだを縮めた。

——うちは、こんないい友達を置いて、ひとりだけ島外の高校にいかうとしている。うちは薄情者じゃ。

「千波、あんたいま、うちに悪い思っただじゃろう」
突然顔をのぞきこまれて、うろたえた。

「そ、そんなこと思ったらん」

うそだった。

「それは失礼で」

はつきりいわれた。そのとおりなので返す言葉もなかった。

「うちは、うちの選択をしたんよ。考えてみたら、おかんはおかんで、ようがんばつとるもん。自分が理学療法士を志してはじめて、おかんの仕事の大変さがわかった。湊高にいつても、つぎがあるもん。それまでにはお父さんのからだも、ようなるじやろうし」
いつだって恵はプラス思考だ。

「うん」

首をうーんとそらせて、空を見あげた。まぶたについていた塩が目にしみて涙がにじんだ。いつのまにか波打ち際が足元までせま
つてきていた。白く泡立つ波の合間に、逃げおくれたヤドカリが、Eとさらわれていた。それでも細い手足を懸命に動かし
て砂浜をよじのぼろうとしている。

「姉ちゃん」

潮だまりで遊んでいた大地が、千波を呼んだ。腕を高くかかげている。きつとなにかつかまえたのだろう。

(八束澄子『明日につづくリズム』による。問題作成にあたり、一部を改変しました。)

*三半規管⇨脊椎動物の内耳にある器官。内耳の後部を構成し、互いに直角をなす半円形の管(半規管)三個をいい、平衡感覚をつかさどる。

*作治⇨千波と大地の父。造船所に勤めている。

*ポルノ⇨音楽グループ「ポルノグラフィティ」のこと。千波と恵はこのグループのファンである。

*のぶ子⇨千波と大地の母。

*望が丘⇨島外にある高校の名前。

*お父さんのからだ⇨恵の父親は病気で入院している。

問一

——線部①「陣取った」③「コントラスト」⑩「一抹」の意味として適切なものを、次のア～エからそれぞれ一つ選び、記号
で答えなさい。

① 陣取った

ア ある場所を占めた イ ある場所に伏せた ウ ある場所に立った エ ある場所に眠った

③ コントラスト

ア 色彩 イ 陰影 ウ 対比 エ 境目

⑩ 一抹

ア 大きな イ ほんの少し ウ 言いようのない エ 重い

問二

——線部②「大型貨物船が鎮座していた」とありますが、大型貨物船のどのような様子を表していますか。適切なものを、次
のA～Eから一つ選び、記号で答えなさい。

A 大型貨物船がゆっくり航行していく様子。

I 大型貨物船がほとんど完成した様子。

U 大型貨物船がどつしりと停泊している様子。

E 大型貨物船の巨大な船体が沈みかけている様子。

問三

——線部④「このはるかな気分」とは、ここではどのように感じるのですか。本文中の言葉を使って答えなさい。

問四

——線部⑤「そんな千波たちを笑うように、波はゆつたりとしたリズムで浜に白いレースもようを描いていた」で使われて
いる表現上の技巧を、次のA～Eから一つ選び、記号で答えなさい。

A 擬人法 I 対句 U 体言止め E 倒置法

問五 ⑥ には、千波の嬉しい気持ちが表された語句が入ります。これより前の文章中からここに入る適切な語句を探し、七字で答えなさい。

問六 A ー E にあてはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア ふつふつ イ ゆうゆう ウ きらきら エ おちぶち オ もそもそ カ ころころ

問七 線部⑦「海に飛びこんだら、ふっきたわ」とありますが、その様子が表れている部分を、本文中から十五字以内でぬき出して書きなさい。

問八 線部⑧「ようやくぱつちりと目がひらいた」とありますが、なぜですか。適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 恵の大きな声で眠気がさめたから。
- イ 恵と仲直りできると思ったから。
- ウ 恵の激しい言い方に圧倒されたから。
- エ 恵の言葉をはっきり理解できたから。

問九 線部⑨「寝ぼけた言い方になった」のはなぜですか。適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア まだ十分に目覚めていないので、はつきり話せないから。
- イ 恵のことばが思いがけないことで納得しきれしていないから。
- ウ 恵の言葉とは関係のないことを話そうとしたから。
- エ 突然の恵の言葉に驚いて声が出なかったから。

問十 線部⑩「大きなからだを縮めた」ときの千波の気持ちとして適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 恵を傷つけてしまうようで申し訳ない気持ち。
- イ 恵との約束を破ったことを謝りたい気持ち。
- ウ 恵に秘密をもっていたのを、恥ずかしく思う気持ち。
- エ 恵のさびしさを分かってあげられないつらい気持ち。

問十一 本文の表現や内容についての説明として適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 仲直りできない二人の少女の気持ちが細かく表現されて、ぎこちない会話に互いの心を推しはかろうとする思いが見える。
- イ テンポのよい会話とはうらはらな、将来に対する不安に満ちた少女たちの気持ちがその中に込められている。
- ウ 情景描写と会話が交互に書かれ、姉弟が海水浴を楽しんでいる様子が、友人の目を通してほほえましく描かれている。
- エ 擬声語や擬態語、比喩が多く使われて情景が生き生きと描かれ、その風景が登場人物の気持ちを巧みに表している。

問五	問二	問一			
問六	①	⑥	①		
	②				
		⑦	②		
	問三				
	問四	⑧	③		
問七	①				
問八	②			⑨	④
				い	
		⑩	⑤		
		う			

© 2004 Blackwell Publishing Ltd, *Journal of Internal Medicine* 255: 103–111

.....

得点

The diagram shows a rectangular domain with a central square hole. The domain is divided into four quadrants by a vertical line at $x=0$ and a horizontal line at $y=0$. The central square hole is centered at the origin with side length $2a$. The outer boundary is a square with side length $2b$. The inner boundary of the hole is a square with side length $2a$. The domain is labeled with x and y axes, and the boundaries are labeled with a and b .